

令和 5 年度第 1 回地域文化支援審査会 議事録

開催日	令和 5 年 7 月 31 日 (月)	
開催時間	9 時 30 分～10 時 30 分	
開催場所	佐賀市役所大財別館 4 - 3 会議室	
出席者	委員	金子委員長、青木副委員長、多良委員、中村委員、嶋津委員
	事務局	北島文化財課長、北村副課長、古川、井手、井上
議 事	<p>(1)報告</p> <p>○令和 4 年度地域文化保存・継承支援事業の実績報告</p> <p>(2)審査</p> <p>○令和 5 年度地域文化保存・継承支援事業の申請内容の審査</p> <p>・博愛の里中川副まちづくり協議会（中川副校区発信 戦争体験伝承事業）</p> <p>【採択】</p> <p>(3)二次募集について</p>	
傍聴者	なし	

(1) 報告

○令和 4 年度地域文化保存・継承支援事業の実績報告

※事務局より報告。(以下、質疑応答)

◇委員

高木瀬歴史散歩マップ作成は、何部ぐらい作られたのか。

◆事務局

6,500 部。

◇委員

世帯数はどれくらいか。

◆事務局

6 月現在で 6,481 世帯である。

◇多良委員

全戸配布をしているのか。

◆事務局

はい。今後このマップを活用した事業等も検討されていると伺っている。増刷等、余裕を持った形で、今後は事務局のほうから助言できるようにしたい。

また、採択事業については、委員の皆様にも成果物を配布できるように努めたい。

◇委員

地蔵堂と神社の鳥居は、地元の皆さんが、頻繁にいろいろと議論なさっていたので、安全性を考慮した上で、こういう立派なきれいな形になったので、大変よかったと思う。

◇委員

鳥居の補修の状況を見ると、白い接着剤、装着材を塗っているようにも見える。だいたいこのようにするものなのか。例えば古い鳥居で、文化財として重要なものであればまた別の補修の方法もあるかと思うが。

◆事務局

指定文化財などになると、さらに専門的なやり方で補修をされると思われる。こちらの方は、特に安全面を配慮し、経費もそれほどかからないように実施をしている。

◇委員

修復はしたと分かるが、せつかくなら業者の方に、自然体にバランスよく見えるよう配慮をしてもらえれば、もう少し歴史的な雰囲気になづくと思う。

◇委員

該当する時はその辺りまで指示をして、できる限りの努力をしていただくという仕方を、意識的にした方がいいと思う。

◆事務局

そういった指導、助言をしながら申請を受けたいと思う。

◇委員長

皆様方から貴重な意見を頂いた。本当にありがとうございました。

(2) 審査

○令和5年度地域文化保存・継承支援事業の申請内容の審査（1件）

・博愛の里中川副まちづくり協議会（中川副校区発信 戦争体験伝承事業）

◇委員

申請書に、戦争体験を語り継ぐ事が難しくなっていて、今でしか取材ができないとい

う趣旨がある。地域資源を継承する事業というのは、他に佐賀市内ではあるのか。この時期に語り継いで残していかないと継承できないのではという心配がある。ぜひ啓発していつて、この事業にも応募していただきたい。

◆事務局

戦争体験を伝えていくという形の事業は、市内での取組について把握していないが、校区単位や小学校単位でされているようである。この審査会においても、戦争体験だけではないが、令和2年度に北川副校区で、昔の時代のことを伝えていこうという事業があり、その中で佐賀空襲のことを紙芝居にして伝えていくという事業があった。

◆事務局

今回作られる冊子を県内の各公民館や小学校に送付する計画になっている。成果物の中に、この事業を使って作成しているというのを一言入れてもらうだけでも、それを見た各地域の方がこの事業を使えることが分かるので、中川副のまち協に相談したい。

◇委員

目次の第一部、「国内での体験談」、「外地での体験談」とある。今でも「外地」という言葉を使うのか違和感があった。文言等は注意を払ったほうがいいと思う。

◇委員

国内だったら国外、外国や外地だったら内地になる。当然、当時の体験談なので、そういう言葉が出てくると思うが、それは説明などをつけないと、多分子どもたちにはわからないと思う。そういう工夫はなされると思うが、こういう目次の部分等では、留意する必要があるのではないか。

◆事務局

今後作成されるに当たって、ご意見があったことをお伝えする。

◇委員

今回申請された内容に関連するものとして、8月の5日から7日まで市立図書館で佐賀市の平和展というのが行われるが、そこに参加されたりしないのか。

◆事務局

来年度については予定されているが、今回についても、何らかの形で関与されるのかというのは確認をしたい。先ほどの用語の件も含めて確認、検討していただくようにお伝えする。平和展に関しては、今年度の事業の成果物は間に合わないかもしれないが、今後、そういった関連事業への参加等については、ご意見をお伝えしたいと思う。

◇委員

目次の第三部にCD-Rとあるが、これは音声の収録だけで朗読を収録されたものか。

◆事務局

音声のみである。

◇委員

手にとって読むというのはかなり限られた興味がある人や、学習等で使うぐらいしかないと思う。できれば今の時代は、ビジュアル的に映像で撮って、それを収録する。インタビュー形式など、本人さんが語られるのを収録するとか。それを授業などで使うときも近くで訴える生の声が聞けるといのは、すごく実感が多いと思う。費用の問題があると思うが、今はスマホなどで費用をかけなくてもできる。極力その辺りうまく生かしてもらえればと思う。

◆事務局

今回の成果物の中には入れられなくても、今後映像等の手段を活用していただくようにお伝えする。

◇委員長

委員の皆さん方から大変貴重なご意見をいただいた。言葉の使い方とか、あるいは活字だけではなく、ビジュアル化した形での資料も考えられるのではないかということで、ぜひ伝えていただきたい。

・採択

◇委員長

申請案件について、承認するという形によろしいか。

◇委員

(異議なし)

◇委員

それではこの案件については、承認するという事で決定をしたいと思う。

◆事務局

ありがとうございました。本日の審査結果の内容に基づいて、補助金の支援を行うこととし、申請団体に対しては、交付決定をこの旨通知したいと思う。また併せて、先ほどのご意見についてもお伝えをしていきたいと思う。

(3)二次募集について

※事務局より二次募集について提案説明。(以下、質疑応答)

◇委員

二次募集の募集方法は、ホームページと市報のみか。

◆事務局

4月の募集のときも、ホームページと市報、公民館へのメールにて募集した。

今回も同様に考えている。

◇委員

地域づくり協議会やまちづくり協議会が各校区にあると思うけれど、その集まりで案内や説明をするのはどうか。

◆事務局

まち協の担当課に相談したいと思っている。

◇委員

前年度の1月に地域づくり交流会が行われた。各校区の地域づくり協議会の方たちがステージに上がって案内する場面があるので、そういうところで案内できるいい機会だと思う。

◇委員

やはり漠然と聞いてもぴんこないなので、何をどうしたらいいのかを皆さんに伝えていただきたい。

◆事務局

そういった機会ですできるだけ周知し、具体的に検討していきたい。

◇委員

よろしくお願ひしたい。周知の方法というのは、なかなか難しいと思うが、できるだけ皆さんに広く知っていただいて、これを利用していただければと思う。